

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2014.5.8 No.154

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>

圏域外特別養護老人ホームの整備について 南伊豆町への現地視察 地方への特養整備の課題は？

都市部での用地不足の解消策 一方、「姥捨て山」との指摘も

五月一、二日、杉並区議会保健福祉委員会
南伊豆町での特別養護老人ホーム（以下、特養
ホーム）整備計画に関する視察を行いました。
同計画は、杉並区が南伊豆健康学園跡地に特
養ホーム整備を検討しているもので、介護保険
制度の圏域外での整備となり、様々な課題があ
ります。

また、地方での整備は、都市部での用地不足
解消策として期待される一方、高齢者が住み慣
れた地域から離れることにもなり、「現代の「姥
捨て山」になるのではないか？」との指摘もさ
れています。

特養ホーム整備用地を視察



視察では、当初から整
備が検討されていた南
伊豆健康学園跡地を訪
問。同地は、津波想定浸
水深が5m弱であり、津
波被害が心配される場
所でもあります。



南伊豆健康学園跡地を
視察（右上）。現地マス
コミも同行取材するな
ど、当該地でも大きな関
心を集めている。
津波避難地は小高い丘
の上にあり、急角度の坂
道を登る必要がある
（上）。



南伊豆町より提案された町有地
（上）。海岸沿いには津波避難タ
ワーが建てられている（右）。

そもそも、寝たきりの高齢者などが居住する特
養ホームは安全性が最優先されるべきであり、津
波被害が想定される場所での施設整備は相応し
くありません。

その後、南伊豆町より提案された内陸部の町有
地を視察。同地は南伊豆町が健康福祉センターの
整備を検討しており、今回、杉並区の特養ホーム
との共同整備を提案している用地です。

同地は、津波の被害想定地域ではなく、町の中心
部に位置しており、交通の便も良い場所です。

住み慣れた地域での整備が重要

南伊豆での特養ホーム整備は、子どもたちの療
養に大きな役割を果たしてきた南伊豆健康学園
の廃止理由の一つとして示されてきました。跡地
活用に関心があるが、健康学園が廃止された
ことは大きな問題です。

また、地域包括ケアの観点からも特養ホーム整
備は高齢者が住み慣れた地域で行なわれるべき
です。しかし、特養ホーム利用者の意向が尊重さ
れ、自治体間交流が活発な地域に限り、地方での
施設整備の可能性も否定は出来ません。利用者の
意向を聞き取りつつ、今後の動向を注視します。

5月3日 憲法記念日

各地で憲法記念日宣伝 「平和を守ろう」の声高らかに

“かつての悲惨な戦争を二度と繰り返してはならない”国民の願いから作られた憲法九条を守る運動が求められています。



子どもたちの未来に平和な世の中を

商店街を練り歩き宣伝。長蛇の列に。



どこでも大勢の参加者で賑やかに
五月三日、憲法記念日に区内各地で憲法記念日宣伝が行なわれました。安倍政権が改憲の策動を強めるなか、日本国憲法・憲法九条の平和条項を守ることを願う広範な世論が広がっています。

西武線沿線は練り歩き 四〇名弱の参加者

西武線沿線では下井草駅〜井荻駅〜上井草駅までの練り歩き宣伝が行なわれました。

参加者は赤ちゃんからお年寄りまで老若男女が集まり、例年の参加者を上回る四十名弱が思い思いの声を上げました。

当日は飛び入り参加の方やインターネットを見て参加した方もおり、「平和を守りたい」と願う世論が大きく広がっています。

私も一人の父親として宣伝に参加しました。今、私たちが普段から享受している平和な世の中が大きく変えられようとしています。

私たちの次の世代に憲法九条・平和な未来を託すためにも、私たちが声を上げることが必要になっています。

育メン日誌

兄妹そっくり…似てきました！

親としては、あまり気付きませんでした。が、会う人会う人に「兄妹そっくりだね」と言われるようになりました。

確かに、言われてみれば、家族の行動パターンなども似てきた気がします。最近、息子は親の言葉を真似るので下手なことは言えません（苦笑）。今は、消防団の訓練の際の「放水始め！」にはまっています。どこでも「放水始め！」というので、少々、困っています。将来、消防団員入りは間違い無いと思います（笑）



確かに、後ろ姿はそっくりです。風邪なども同時に罹るので、苦労しますが、二人仲良く元気に育ってほしいものです。

6月14日操法大会に向けて 一番員として 訓練に全力

荻窪消防団の操法大会が6月14日（土）に行なわれます。今年も大会選手として、一番員（放水）を担当します。現在、訓練が開始されており、夜間訓練、休日の早朝訓練を行なっています。

早いもので、私が選手となってから三年目となりました。今年こそ、良い結果が出せるよう全力で頑張ります。



早朝訓練の様子。荻窪消防団第三分団長のフェイスブックより転載。撮影・上村央団員。